



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科研究学会日本部会 会 報

1987-I

2月

I. 1986年第4回理事会

日 時：10月6日(月)2:00 pm

場 所：東京医科歯科大学会議室

出席者：三浦会長、大橋副会長、須賀前会長、小沢、吉田、清水、亀山、木下各理事、
常光事務局長

1. 報告ならびに協議事項

1) 4年毎に発行される会員名簿を作成するため、調査カードの締切り日を10月末日とし、
会員各位に郵送し、ご協力願うこととした。

2) 既に発足させた会則検討委員会（在京の理事会構成メンバーに事務局長が加わったもの）
より、SecretaryとTreasurerの分離、ならびに理事の数を若干名増員することが望
ましい旨の報告があり、次回理事会で決定することとした。

3) 1986年度のJADRの会計監査に小西浩二教授（大阪歯科大学）と細田裕康教授（東京医
科歯科大学）を指名した。

4) JADRの終身会員に山本 巖先生（大阪大学名誉教授）をご推薦した。

II. 1986年第5回理事会

日 時：12月3日(水) 2:00 pm

場 所：東京医科歯科大学会議室

出席者：三浦会長、大橋副会長、須賀前会長、小沢、吉田、清水、亀山、木下各理事、
佐々木次期事務局長、常光事務局長

1. 報告（事務局長より）

1) 昭和61年10月31日現在の会員数は正会員 785 名、名誉会員 2 名、終身会員17名、賛助会員は 7 社となっている。新入会員は96名、退会者（会費未納3年以上の会員は自然退会者として事務的に処理した）は24名である。

2) 会費納入状況について

会費納入者率は85%で、未納者には事務局より早く納入して頂くよう催促している。

2. 協議事項

1) 第35回JADR大会の開催地について

理事会で協議した結果、昭和62年12月5日(土)と6日(日)の両日、横浜市において鶴見大学歯学部清水正春教授の下で開催されることになった。

2) 1986年度会計報告（事務局長より）

1986年度国際歯科研究学会日本部会(JADR)会計報告(1985年11月1日-1986年10月31日)

収 入		(円)	支 出		(円)
前年度よりの繰り越し金		2,283,803	通信費		311,160
会員収入			印刷費		276,200
正会員	707名	2,342,000	会合費		45,035
賛助会員	7社	490,000	交通費		618,000
日本歯科医学会よりの寄付金		500,000	文房具費		42,453
銀行利息		13,579	プラーク製作費		30,000
			供花料		30,000
			IADR理事会への出席者に 対する旅費補助金		200,000
			特別講演謝金		150,000
			第34回JADR大会準備補助金		500,000
			名簿作成積立金		560,000
				(小計)	(2,762,848)
			繰り越し金		2,866,534
合 計		5,629,382	合 計		5,629,382

小西浩二（大阪歯科大学）と細田裕康（東京医科歯科大学）両教授に会計監査をお願いし、その監査結果にもとづき、上記の会計決算書が承認された。

3) 1987年度予算案

1987年度国際歯科研究学会日本部会(JADR)予算案 (1986年11月1日-1987年10月31日)

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度よりの繰り越し金	2,866,534	通信費	330,000
会費収入		事務局移転費	150,000
正会員 3,000円×720名	2,160,000	印刷費	380,000
賛助会員 7社	490,000	会合費	280,000
1987年度日本歯科医学会よりの		交通費	760,000
寄付金	500,000	文房具費	50,000
銀行利息	5,962	プラーク製作費	60,000
		第35回JADR大会準備補助金	500,000
		IADR理事会への出席者に 対する旅費補助金	200,000
		特別講演謝金	200,000
		予備費	400,000
		(小計)	(3,310,000)
		繰り越し金	2,712,496
合 計	6,022,496	合 計	6,022,496

上記の予算案が理事会で了承され、総会 (Business session) で承認を求めることになった。

4) JADR会則の一部変更について

①従来の会則では Secretary - Treasurer が事務局長として庶務と会計事務を行っていたが、年々、事務量が増え、事務局長一人では到底カバーできないので、Secretary (事務局長) と Treasurer (会計担当理事) に業務を分けること。

②従来の会則では理事5名であったが、現在、歯科大学と歯学部が29校にも達しており、全国各地からの会員の声を幅広く吸い上げてJADRの発展を期したいとの意向をふまえて、この際理事を更に2名増員すること。

が理事会で承認され、それに伴い会則の一部変更を総会に諮ることとした。

なお改正された会則については、新しく発行される会員名簿に掲載の予定である。

Ⅲ. 第34回JADR大会について

昭和61年12月4日(木)と5日(金)の両日にわたり、第34回JADR大会が三浦不二夫会長の下で、東京医科歯科大学の構内において開催された。出題数は口演発表と展示発表を含めて、122題

で、3会場に分けて発表が行われた。参加者数は485名であった。第2日目の14:00から総会がもたれ、前日の理事会での報告事項ならびに協議事項について、事務局長より説明があり、諸案件が承認された。その後、三浦不二夫会長より、山本 巖 (大阪大学名誉教授) 先生に終身会員のプラークが贈呈された。

なお総会において常光 旭次期会長より次の新役員が指名された。

新 役 員 (1987~1988)

会 長	常光 旭 (大阪大学歯学部予防歯科学)
副 会 長	大橋 正敬 (日本大学歯学部歯科理工学)
前 会 長	三浦不二夫 (東京医科歯科大学歯学部歯科矯正学)
事 務 局 長	佐々木 哲 (東京医科歯科大学歯学部生化学)
会計担当理事	長尾 正憲 (東京医科歯科大学歯学部歯科補綴学)
理 事	木下善之介 (大阪歯科大学歯科矯正学)
〃	清水 正春 (鶴見大学歯学部生化学)
〃	亀山洋一郎 (愛知学院大学歯学部口腔病理学)
〃	作田 守 (大阪大学歯学部歯科矯正学)
〃	見明 清 (東京歯科大学口腔組織学)

2名の追加工事の人選は会長と次期会長に一任し、次回理事会で決定することが総会で承認された。

本大会ではIADR次期会長R. C. Page教授 (ワシントン大学) の出席の機会を得たので、“Diagnosis and Treatment of the Early Onset Types of Periodontitis” と題して有益な特別講演がもたれた。

IV. 1987年第1回理事会

日 時：1月26日(月) 2:00 pm

場 所：大阪大学歯学部会議室

出席者：常光会長、大橋副会長、三浦前会長、佐々木事務局長、長尾会計担当理事、木下、清水、亀山、作田、見明、二階各理事

1. 報告事項

1) 第34回JADR大会の決算報告について

三浦前会長より第34回 JADR 東京大会の決算報告がなされ、収入・支出額 4,641,155円で残額0円である旨説明があり了承された。

2) JADR会員名簿の発行について

調査カードが予定通り回収されなかったため、会員名簿の発行は予定より遅れ、2月下旬になることが報告された。

2. 協議事項

1) 追加の新理事として、

堀内 博 (東北大学歯学部歯科保存学)

二階 宏昌 (広島大学歯学部口腔病理学)

の2名を決定した。

2) Presidents Committeeの委員に須賀昭一教授(日本歯科大学)を推挙することを決定した。

3) 第35回JADR大会は清水正春準備委員長の下で、昭和62年12月5日(土)と6日(日)の両日、鶴見大学歯学部で開催されるが、学会の運営内容等については次回の理事会で検討することになった。

4) 第65回IADRシカゴ大会の国際理事会への日本側代表者について

本年3月9日と10日の2日間にわたって開催されるIADRの国際理事会には、常光会長と佐々木事務局長が出席することが確認された。

(文責 事務局長補佐 零石 聡)

事務局の移転

1987年1月より新事務局長、並びに事務局の住所は下記のとおりとなります。

事務局長：佐々木 哲 教授

住 所：〒113 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学歯学部生化学講座

TEL.03-813-6111 内線 5125・5126

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒113 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学歯学部生化学講座内

電話 (03)813-6111 内線 5125・5126